

神奈川県新体操クラブ連盟 大会ルール ~~(案)~~

2023年度版

神奈川ルール

<総則>

【マーク】 位置はウエストより上で、前面または腕にしっかり付ける。

【手 具】 中学年は以下のことにおいて使用を認める。

- ・新体操用のジュニア手具を認める。
- ・フープの内径は60cm以上とする。
- ・ボールの直径を15cm以上とする。
- ・クラブの長さは36cm以上とする。
- ・リボンの長さを4m00cm以上とする。

* 上記以外においては、採点規則22～24(マークアップ含む)に準ずる。

【1部】

徒手個人	低学年・中学年	・DB(身体難度) 最低6難度～最高7難度 ・  規則集の難度表から同じ種類、同じ価値の難度を左右1回ずつ計6難度 ・1難度自由(左右以外で高いもの) ・S(ダンスステップコンビネーション) ……最低2個 ・全身を使った波動 ……最低2個 注) ① DB・S・全身波動の不足(それぞれ一括0.3点の減点、最大0.9点の減点となる) ② バランス及びステップには手の動作を入れること。 ③ 演技時間は1分～1分30秒とする。 ④ 上記以外においては採点規則(22～24)に準ずる。 * D得点+神奈川ルール評価表=最終得点
手具個人	中学年	・DB(身体難度) 最低6難度～最高7難度 ・  規則集の難度表から同じ種類、同じ価値の難度を左右1回ずつ計6難度 ・1難度自由(左右以外で高いもの) ・DA(手具難度) 最も高いものから3個カウント ・R(リスク) ……手具が空中下にある時に1回転で成立する (1回転で0.1点) 注) ① DB(身体難度)の不足(一括0.3点の減点となる) ② DB(身体難度)中の手具操作は左右同じやり方でもよい。 ③ 上記以外においては採点規則(22～24)に準ずる。 * D得点+神奈川ルール評価表=最終得点
	高学年・生徒	・採点規則(22～24)に準ずる。 ・R(リスク) ……手具が空中下にある時に1回転で成立する (1回転で0.1点)

【徒手団体】

DB(身体難度)	最低3難度～最高7個 ◎ シャンプ・バランス・ローテーションは全員で各1種類以上行う ◎ サブグループは2個まで可能	価値
		難度表の通り
連係	最低 4個 上限 15個	下記の通り
ステップ	8秒間 最低 3個	不足の場合0.3減点
W	最低2個	不足の場合0.3減点

選手間の連係	【回転無し】パートナーの間や上、下を通過する	価値
		0.1
	【垂直軸】パートナーの間や上、下を通過する	0.2
	【プレアクロ】パートナーの間や上、下を通過する※	0.3
	腰より上に持ち上げるリフト(1回のみ) *キッズはリフト禁止	0.2

※【プレアクロ】の時のみ、1人増えるごとに0.1加点、ただし、加点は3人まで。

(例:3人が前方転回で連係を行う→ $0.3+0.1+0.1=0.5$)

- 注) ① 身体グループは難度規則集から選択し、左右はなしとする
- ② バランス及びステップには手の動作をいれること
- ③ リフト中に行う回転や通過については、上記の表の通り加点される
- ④ 選手間の連係は「通過直後の回転」でもよい
- ⑤ プレアクロバット要素は、採点規則集のNo.1～No.13に準じる。
- ⑥ 演技時間2分15秒～2分30秒とする
- ⑦ 上記以外においては、採点規則(22～24)に準ずる

* D得点+神奈川ルール評価表=最終得点